

全国の新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、徐々に増加の傾向にあります。岩手県でも同様に10月中旬頃から増加に転じ、現在まで減少が見込めない状況にあります。今冬はインフルエンザの流行の懸念もあり、より多数の発熱患者が同時に生じる可能性があると言われていています。

医療従事者の方々には、これまで、コロナ禍の状況下にあっても市民の健康を守るために、安定した医療提供体制に御尽力をいただいておりますが、今後、感染拡大が止まらなければ、医療機関に再び大きな負担となり、通常医療にも影響が及ぶ恐れがあります。

重症化リスクの高い、高齢者や障がいのある方を守り、また、通常医療を確保するためにも、市民の皆様には、今一度、手指衛生、換気、国が示している場面ごとの正しいマスクの着用などの基本的感染予防策ができていますか確認の上、徹底していただくようお願いします。

オミクロン株対応のワクチン接種については、接種間隔が5か月から3か月に短縮されており、順次接種券を送付しております。新型コロナウイルスワクチンと季節性インフルエンザワクチンについては、同時接種が可能です。特に重症化リスクの高い方で、接種を希望される方は、早めの接種をお願いします。

また、岩手県では、発熱外来を行う医療機関のひっ迫を緩和すること等を目的に、65歳未満で重症化リスクの低い有症状の方等が自ら検査を実施できるよう「いわて検査キット送付センター」を設置しております。陽性になった方は、医療機関に行かなくても「いわて陽性者登録センター」に御登録いただき、健康サポートを受けることができますので、発熱等の症状が出た時には、早めの御利用をお願いします。

市民の皆様におかれましては、一人一人が、感染リスクを意識し、基本的な感染予防対策を徹底しながら、社会活動や交流活動を行っていただきますよう御協力をお願いいたします。

令和4年11月8日

盛岡市新型コロナウイルス感染症対策本部
本部長（盛岡市長） 谷 藤 裕 明